

新たな行財政改革 取組シート

取組項目 広聴広報の充実

1 これまでの具体的取組内容

(県民の声を聴く取組)

- ・ 県民の声相談 (県民の声データベースシステムを平成 13 年 6 月から稼働)
- ・ 「e-モニター」(電子アンケート) (平成 19 年度～)
- ・ 「一万人アンケート」(平成 16 年度～平成 22 年度)
- ・ 「知事と語ろう本音でトーク」(平成 15 年度～平成 22 年度)

(県民に県行政に関する情報を届ける取組)

- ・ 県広報紙やテレビ・ラジオの広報番組、新聞広告などマスメディアを活用した広報活動
- ・ マスコミに情報を提供し記事やニュースに取り上げてもらうパブリシティ活動
- ・ ホームページ広報

2 これまでの取組を踏まえた現状の評価・課題**【強み】**

- ・ 県民の声相談では、県民の皆さんから寄せられた意見・苦情などに対して誠実に応えるとともに、対応状況についても公表してきましたが、意見を寄せられた県民へのアンケート調査では県の対応について「満足した」との回答が約 40%となっています。
- ・ 「e-モニター」(電子アンケート) や「一万人アンケート」により、県から県民の皆さんに対して働きかけ、県民の意識や実態把握に努めてきました。「e-モニター」のアンケートでは、回答者の 70%を超える方から「県からの情報は伝わっている」との回答をいただいています。また、86%の方が「三重県政を身近に感じるようになった」と答えていただいています。
- ・ 「知事と語ろう本音でトーク」では、広く県民の皆さんに参加していただきながら、県民の皆さんの質問に答えてきました。参加者のアンケートでは、県の取組を知ることができたなどの理由から、「満足」との回答が約 70%となっています。
- ・ マスメディアなどを活用した広報活動やパブリシティ活動などとともに、これら取組を通じて、県民の皆さんとの情報共有が一定程度進んできていると考えます。

【弱み】

- ・ 県政の課題を県民の皆さんも一緒に考え、参画してもらえるように、県民の皆さんが十分な情報収集を図れるよう取り組んでいくことが必要です。
- ・ 県民の皆さんへの成果を第一に考え、より高めていくために、県民の皆さんの暮らしの現場に存在する様々な実態をより広く把握していく必要があります。
- ・ テレビや新聞といったマスメディアや広報紙を利用するだけでなく、県民の情報入手手段の多様化に対応して、県民のニーズを踏まえ、より適切な広報手段を選択し、効果的・効率的な広報を実施することが必要です。
- ・ ホームページによる県政情報の提供は行われていますが、動画やメールマガジン、ツイッターなどのネット系インフラの積極的な活用が必要です。

- ・ 広報したことに満足せず、広報効果や広報内容に対する意見などの把握に努めることが必要です。
- ・ 県民の皆さんに成果を届けていくためにも、全ての県職員が県の政策に関する理解を深めるとともに、様々な機会を捉えた積極的な情報発信に努めることが必要です。

ご意見をいただきたいポイント

(県民の声を聴く取組)

- 県民の皆さんへの成果を第一に考え、より高めていくために、県民の皆さんの暮らしの現場に存在する様々な実態をより広く把握していく広聴手法について、幅広くご意見をいただきたい。
- また、インターネットを活用した広聴手法について、利用者としての視点も含め、ご意見をいただきたい。

(県民に県行政に関する情報を届ける取組)

- 県民の情報入手手段の多様化に対応した、よりタイムリーかつ分かりやすい広報手法について、利用者としての視点も含め、幅広くご意見をいただきたい。

(職員の広聴広報意識の向上)

- 県民がさまざまな機会に県政情報に触れ、県政への関心を高めていけるよう、職員一人ひとりが「広聴広報担当者」であるという広聴広報意識の向上に取り組んでいく手法について、ご意見をいただきたい。

「e-モニター」登録者集計表

23.4.13現在

地域名	選挙人名簿 登録者数 (23.3.2現在)	モニター数			モニター 地域別 構成比	名簿登録者数 構成比
		男	女	計		
桑名・員弁地域	174,554	105	98	203	12.7%	11.6%
四日市地域	297,069	198	174	372	23.3%	19.7%
鈴鹿・亀山地域	194,199	113	91	204	12.8%	12.9%
津地域	230,409	109	138	247	15.5%	15.3%
松阪地域	177,248	112	81	193	12.1%	11.8%
南勢志摩地域	217,909	98	84	182	11.4%	14.5%
伊賀地域	146,150	68	72	140	8.8%	9.7%
尾鷲地域	34,184	11	15	26	1.6%	2.3%
熊野地域	34,755	16	13	29	1.8%	2.3%
【県 計】	1,506,477	830	766	1,596	100.0%	100.0%
男女構成比		52.0%	48.0%			
名簿登録者男女別構成比		48.3%	51.7%			

年代別	モニター数			モニター 年代別 構成比	年代別構成比 (※)
	男	女	計		
20歳代	76	120	196	12.3%	14.2%
30歳代	157	214	371	23.2%	18.3%
40歳代	206	207	413	25.9%	16.7%
50歳代	183	151	334	20.9%	17.3%
60歳代	149	59	208	13.0%	18.6%
70歳代	59	15	74	4.6%	14.9%
合計	830	766	1,596	100.0%	100.0%

※ 20歳から80歳以下の構成比。数値は国勢調査を基にした県の推計結果(H20.10.1現在統計室データ)。

登録年度別	モニター数			登録 年度別 構成比
	男	女	計	
21年度登録	292	265	557	34.9%
22年度登録	225	218	443	27.8%
23年度登録	313	283	596	37.3%
合計	830	766	1,596	100.0%

e-モニター(電子アンケート)のアンケート

- 設問 今後活用すべき広報手段について
今後、充実をはかるべき県の情報提供の方法は、どのような方法が良いとお考えでしょうか。
(複数回答可)

選択肢(複数回答可)	回答者数	回答率
県広報紙「県政だより みえ」	608	22.8%
新聞広告「広報みえ」など	386	14.4%
県提供テレビ番組(地上デジタル放送のデータ放送(文字情報など)含む)	356	13.3%
県提供ラジオ番組	130	4.9%
報道機関が配信するニュース	322	12.1%
県庁関係のインターネット・ホームページ	330	12.4%
ソーシャルメディア(ブログ、ツイッターなど)	103	3.9%
ポスター、チラシ	274	10.3%
メールマガジン	142	5.3%
その他	21	0.8%
合計	2672	

- ※e-モニター(電子アンケート)「地域づくりと広報についてのアンケート(2011年10月)」
対象モニター数:1593人、回答者数1069人(回答率67%)

- 設問 情報入手状況について
あなたが得たい県情報を、あなたは入手できていますか。

選択肢	回答者数	回答率
十分入手できている	19	1.8%
概ね入手できている	557	52.4%
あまり入手できていない	402	37.9%
まったく入手できていない	22	2.1%
入手したい県情報は特にない	62	5.8%
合計	1062	

- ※e-モニター(電子アンケート)「地域づくりと広報についてのアンケート(2011年10月)」
対象モニター数:1593人、回答者数1069人(回答率67%)但し本回答者数は1062人

- 設問 e-モニターに参加して
e-モニターとしてアンケートにお答えいただいて、三重県政を身近に感じるようになりましたか。

選択肢	回答者数	回答率
とても感じる	137	17.2%
どちらかと言えば感じる	550	69.0%
どちらかと言えば感じない	88	11.0%
全く感じない	18	2.3%
その他	4	0.5%
合計	797	

- ※e-モニター(電子アンケート)「広聴広報についてのアンケート(2011年3月)」
対象モニター数:1354人、回答者数797人(回答率58%)